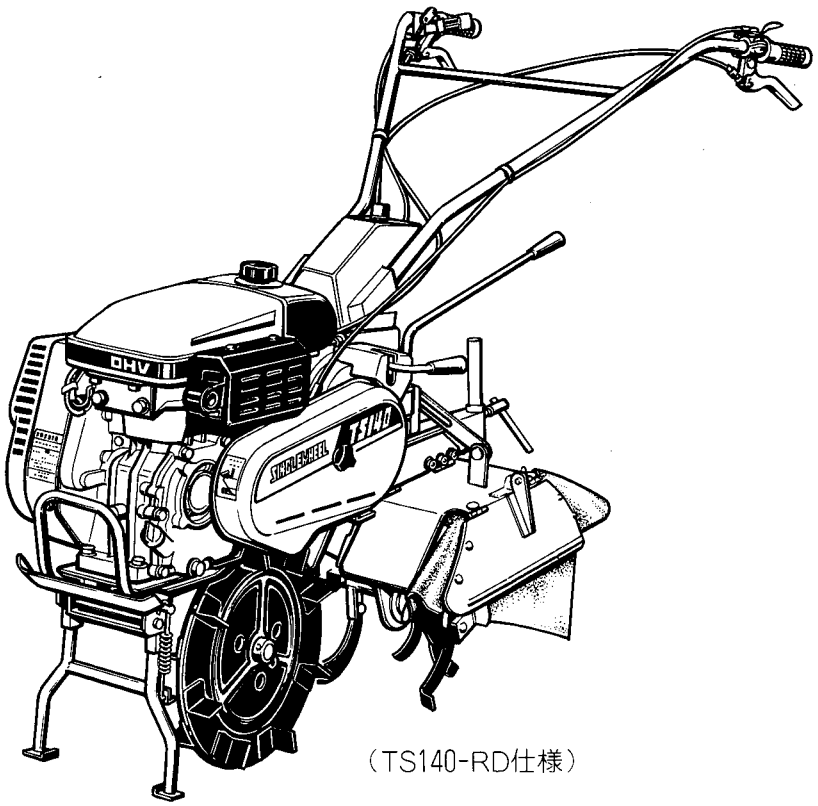
クボタ一輪管理機

取扱説明書

TS 140 150



（TS140-RD仕様）

J-2629

ご使用前に必ずお読みください

Kubota

次のことがらを必ず守ってください　●安全に作業するために

安全5憲章

☆道路走行・ほ場の出入り・車への積降しのときは，必ずロータリの回転を止めます。
☆農道を走行するときは，スピードを落とし路肩に注意します。
☆ほ場の出入り・車への積降しは上りは前進，下りは後進で行ないます。
☆バックをするときは，スピードを緩め背後の障害物に注意します。
☆機体の点検・調整・整備は必ず，エンジンを止めてから行ないます。

この機械をお使いになるときは復唱してください。

はじめに

取扱説明書をよく読んで，機械の使い方をよく覚えてから使用してください。
そして機械を点検し，異常箇所がないか確かめてから使用してください。

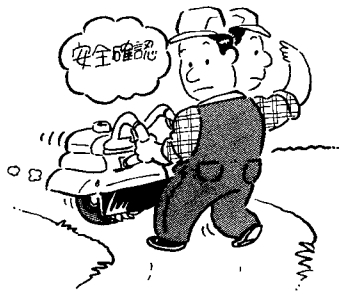
燃料の給油とエンジンの始動

J-2244

(1)燃料補給をするときは，
- ●必ずエンジンを停止して行ないます。
- ●燃料をこぼさない。
- ●こぼしたときは，きれいにふき取ります。
- ●火気厳禁。特に夜間は裸火の下で給油しない。

(2)密閉した車庫内で，長時間エンジンをかけたままにしておくと，空気を汚しガス中毒を起す危険があります。
(3)エンジンを始動するときは，主クラッチを切り，主変速・ロータリ変速を「中立」にしてから行なってください。

前進・バック



J-2245

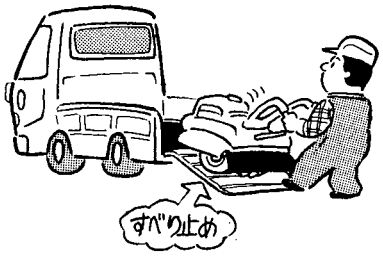
発進するときは，周囲の安全を確かめ，機械の付近に人が近づかないようにしてください。
また，バックするときには，足元・後方をよく確かめてから，エンジンを低速にしてバックしてください。

作業中

J-2246

(1)傾斜地では転倒を防ぐため，速度や旋回に十分注意してください。無理な運転をすると機械が転倒することがあり危険です。
(2)安全カバーなどを取外した状態で運転すると，回転部分に巻込まれる危険があります。
(3)共同作業者がある場合は，動作ごとに合図をかわしてください。
(4)作業中は機械の近辺に人を近づけてはいけません。
(5)機体を持上げるときは，ロータリや車輪が回転していると危険ですから，必ずエンジンを停止してください。
(6)ロータリの耕幅は正規の幅以上に拡げて使用しないでください。過負荷がかかり，早期破損の原因になります。

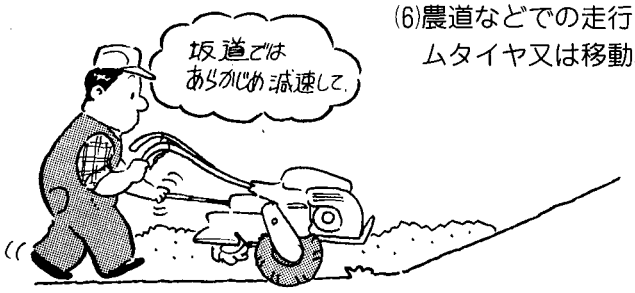
積み・降ろし



J-2247

(1)丈夫なすべり止めをしたアユミ板を確実に固定し，周囲に人がいないことを確認してから行なってください。
(2)積込み・積降ろし中に，トラックが動かないように，必ずトラックのエンジンを止め，サイドブレーキを確実にかけてください。
(3)トラックなどで運搬するときは機体をロープで確実に固定してください。横倒しで運搬するとガソリン，オイルが洩れる恐れがあり危険です。

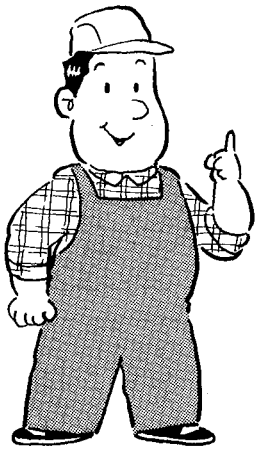
走　行



J-2248

(1)坂道での変速操作は危険です。平たんな所であらかじめ遅い速度に変速し，安全な速度で走行してください。
(2)高低差が大きいほ場への出入りは，転倒の恐れがあり，必ずアユミ板を使用してください。
(3)一般道路上では，自動車に道を譲るなど交通法規・交通道徳を守ってください。
(4)カーブでは，速度を落としてください。
(5)踏切を渡る場合は，必ず一旦停止し，列車通過の有無を確認の上，速やかに渡ってください。
(6)農道などでの走行，ほ場への出入り，トラックなどへの積み・降ろしは車輪をゴムタイヤ又は移動車輪に交換して，車輪ロックしないよう注意してください。

その他



J-2249

(1)次のような状態では運転しないでください。
　●飲酒運転。●いねむり運転。●妊娠中の方。
　●病気や薬物の作用で，正常な運転ができないとき。
(2)だぶついたズボンや上着など，回転部分に巻込まれやすい服装は，たいへん危険です。
(3)点検・整備・清掃などは，必ずエンジンを止めてから，取扱説明書に従い行なってください。
(4)作業中又は作業後に，高温部分（マフラなど）に触れるとヤケドをする危険がありますので，必ず冷えてから整備・点検などを行なってください。
(5)機械を他人に貸す場合は，取扱い方法をよく説明し，「取扱説明書」「納入品安全説明書」をよく読むように指導してください。

★以上，機械の取扱いで起りがちなあやまちを未然に防いでいただくために，主だった注意事項を挙げました。これ以外にも本文の中で 安全ポイント として，そのつどとり上げております。更に，安全のポイントを抜粋した「納入品安全説明書」を別冊にして添付しておりますので，よくお読みいただいて必ず守ってください。

はじめに

このたびは本製品をお買いあげいただきまして，ありがとうございました。
この取扱説明書は，管理機の正しい取扱い方法・定期的な点検及び整備について説明してあります。
本機のすぐれた性能を十分に発揮して，安全に快適な運転をしていただくため，本書をよくお読みいただき，十分理解してからご使用くださるとともに，日常の保守点検・整備・給油などを十分に行なって末長くご活用ください。また，お読みになった後必ず大切に保存し，わからないことがあったとき取出してお読みください。
なお，本製品についてより能率よく農作業を行なっていただくために，不断の研究成果を新しい技術として，ただちに製品に取入れておりますので，お手元の管理機と，この説明書に多少の違いが生じる場合もありますが，あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

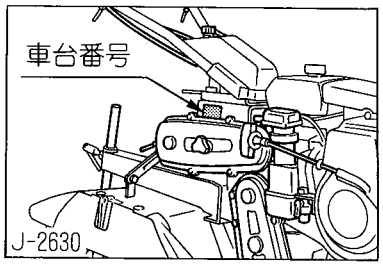
なお，本書では派生形式によって下記のように表示しています。

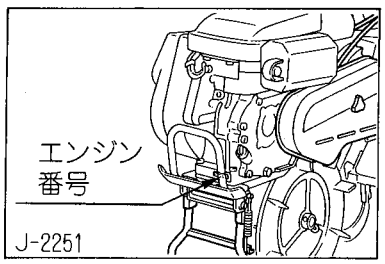
R仕様……中耕ロータリ
C仕様……クロスカットロータリ

説明は，TS140-RDを基本とし取扱いが異なる場合は，そのつど追加説明してあります。

サービスと保証について

この管理機には，保証書が添付してあります。詳しくは保証書をご覧ください。
なお，ご使用中の故障やご不審な点及びサービスに関するご用命は，お買いあげいただきました販売店・農協・弊社支店又は㈱クボタアグリに，それぞれ「ご相談窓口」を設けておりますのでお気軽にご相談ください。
その際　(1)管理機名称と車台番号
　　(2)エンジン名称とエンジン番号
を併せてご連絡ください。





ご注意

★トレーラ走行はできません。

小型特殊自動車の認定を受けておりません。
一般公道でのトレーラ走行はできません。

目次

1 もうおぼえられましたか？ ● 各部の名称と装置の取扱い

各部の名称と装置の取扱い……1

2 作業前にこれだけチェック ● 作業前の点検について

作業前の点検について……3

3 このように運転します ● 上手な運転のしかた

エンジンの始動のしかた……5
停止のしかた……6
ならし運転（最初の10時間程度使用まで）6
ロータリクラッチの使い方……7
ハンドル高さの調節……7
ハンドルの逆向き……7
車輪の交換のしかた……7
ロータリ各部の調節のしかた……8
ロータリの着脱のしかた……9

4 こんなときどうする？ ● 管理機の簡単な手入れと処置

エンジンオイルの交換……10
ミッションオイルの交換……10
燃料フィルタポットの清掃……10
エアークリーナエレメントの清掃……11
点火プラグの調節・清掃……11
主クラッチワイヤの調節……11
新しいベルトに交換する場合……11
ロータリクラッチワイヤの調節……12
ハンドル高さ調節ワイヤの調節……12
車軸ケースへのグリース……12
副チェーンケースへのグリース……12
ロータリケースへのグリース（R仕様）…12
ロータリケースオイルの交換（C仕様）…12

5 長い間使わないときは？ ● 長期格納時の手入れ

使用後の手入れ……13
長期格納時の注意……13
燃料の抜取り……13

6 このような作業ができます ● アタッチメント

中耕・除草，培土・畝たて，土入れ・土揚げ…14
アタッチメント一覧表……15

7 付 記 ● 主要諸元・付属品・消耗品

主要諸元……16
標準付属品……17
主な消耗部品一覧表……17

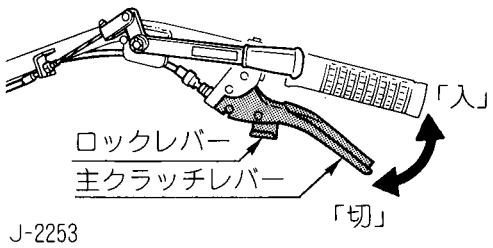
1. もうおぼえられましたか? ●各部の名称と装置の取扱い

エアクリーナ

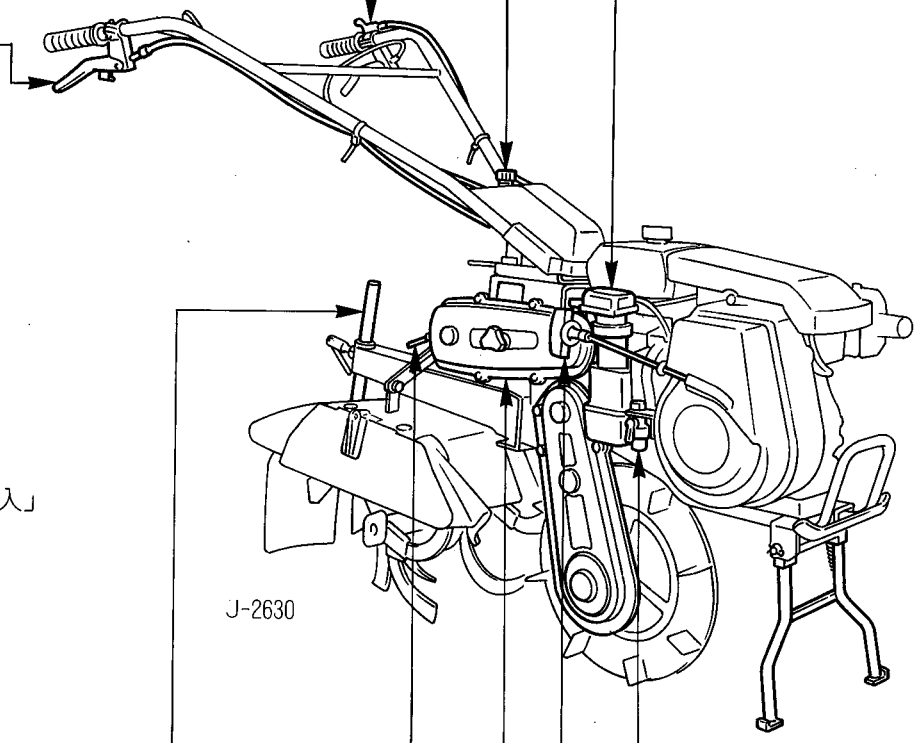
エンジンスイッチ
「ON」…エンジンが始動できる位置
「OFF」‥エンジンが停止する位置

アクセルレバー

主クラッチ
エンジンからの動力を断続します。
クラッチ「入」…レバーを握るとロックレバーが作用して，手を放しても戻りません。
クラッチ「切」…ロックレバーを握り，手を放すとクラッチレバーが戻ります。



J-2253


J-2630

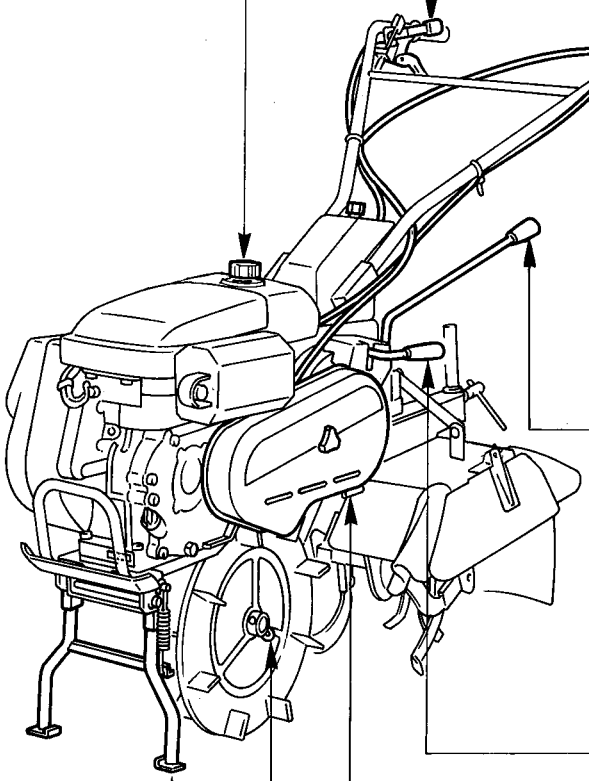
尾そり
耕うん深さを調節します。

カバー調節ボルト
作業に応じ，ロータリカバーの開閉を行ないます。

副チェーンケース
前後の入換えにより，耕うん爪の回転が2段階に変えられます。

リコイルスタータ

燃料コック・フィルタ



J-2631

燃料タンク

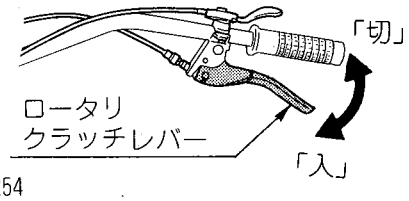
（自動車用無鉛ガソリン使用）

ハンドル高さ調節レバー

レバーの操作により，ハンドルが 4 段階に調節できます。

ロータリクラッチ

旋回時などロータリの回転を一時的に停止するときに使用します。



J-2254

主変速レバー

変速操作は主クラッチを「切」ってから行なってください。

ハンドル正位置時……前進 2 段
後進 1 段
ハンドル逆位置時……前進 1 段
後進 2 段

ロータリ変速レバー

変速操作は主クラッチを「切」ってから行なってください。

正回転……1 段
逆回転……1 段

（副チェーンケースは前後入換えができます。）

ベルトカバー

車軸シャーピン

前スタンド

2. 作業前にこれだけチェック ●作業前の点検について

安全ポイント ☆給油中はエンジン停止・火気厳禁。くわえ煙草での給油はしないでください。
☆燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。
☆前スタンドを立て機械を安定させて点検してください。

●エンジン始動前に……

燃　料

➜自動車用無鉛ガソリンを補給します。
➜タンク容量……約1.5ℓ

エンジンクランクケースオイル

➜エンジンを水平にして，レベルゲージ規定量まであるか点検します。
➜不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。
（夏……G30　冬……G20）
➜オイル量……TS140(GH120)：0.55ℓ　TS150(GH170)：0.6ℓ

エアークリーナ用オイル

➜オイルパンの規定線まであるか点検します。
➜不足している場合は，エンジンオイルを補充します。

ミッションオイル

➜スタンドを立てた状態で，検油口まであるか点検します。
➜不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。(M80B又はM90)
➜オイル量……1.0ℓ

主クラッチワイヤ
ロータリクラッチワイヤ
ハンドル調節ワイヤ

➜ワイヤ注油部より，エンジンオイルを注油します。

主クラッチ
ロータリクラッチ
ハンドルの高さ

➜クラッチの「入」「切」が確実に行なえるか点検します。
➜ハンドルの高さ調節ができるか点検します。
➜不良の場合は調整します。

そ の 他

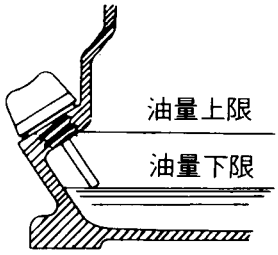
➜エンジン・ミッションケースなどから油もれがないか点検します。
➜各しゅう動部へエンジンオイルを注油します。
➜各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検します。

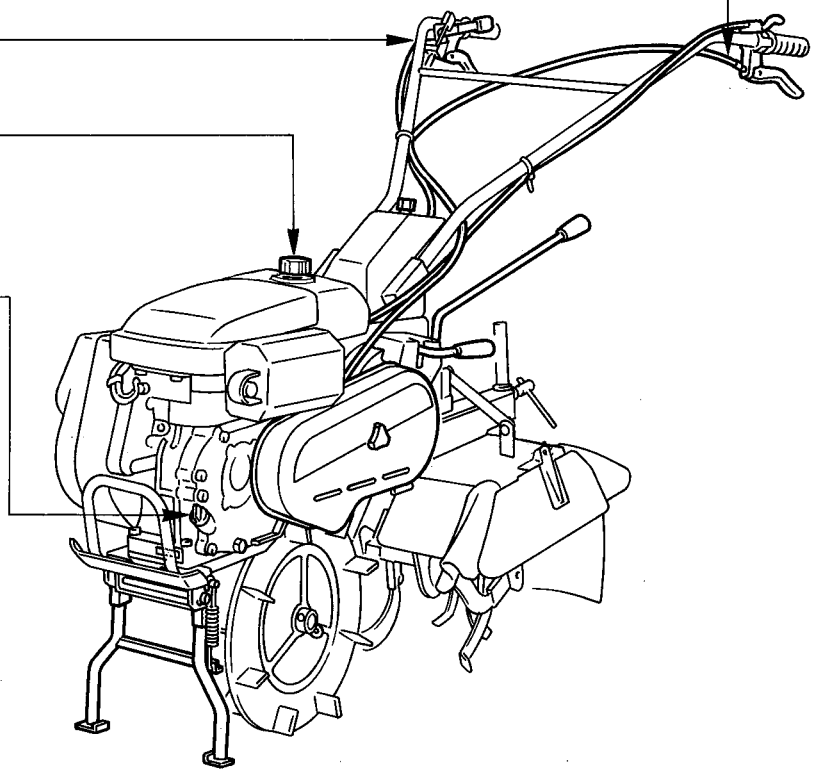
注油（ロータリクラッチワイヤ）

注油（主クラッチワイヤ／ハンドル高さ調節ワイヤ）

ガソリン給油口

エンジンオイル
点検・給油口

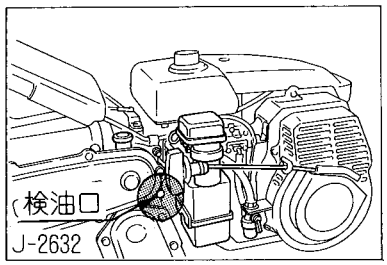




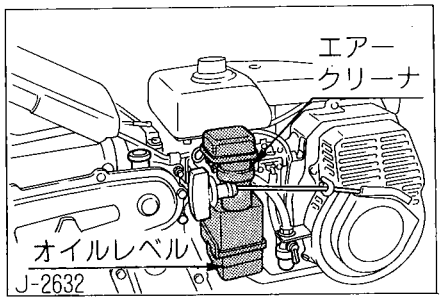
J-2631

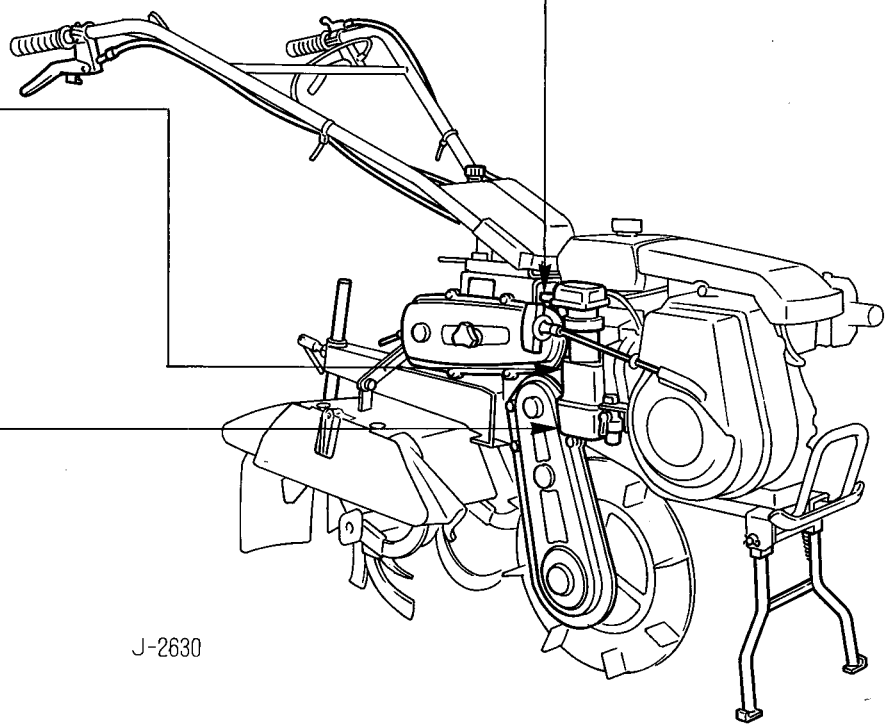
ミッションオイル給油口

ミッションオイル
検油プラグ



エアークリーナ



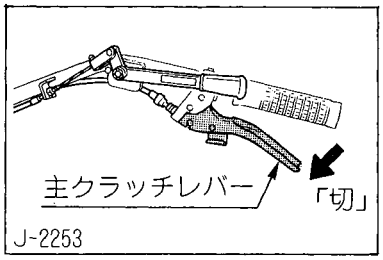


J-2630

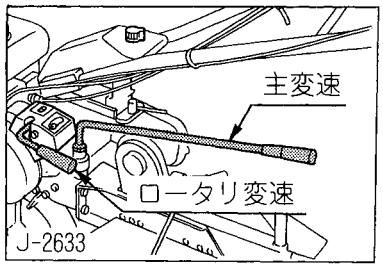
3. このように運転します ●上手な運転のしかた

エンジンの始動のしかた

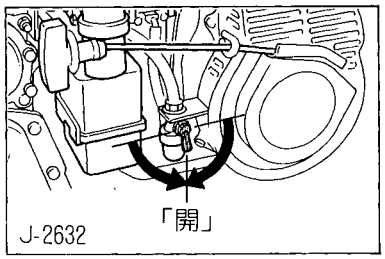
❶主クラッチレバーを「切」にします。



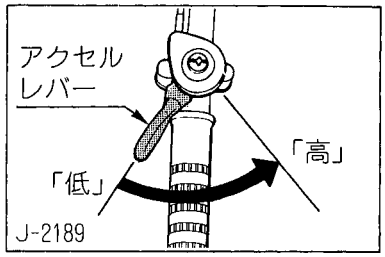
❷主変速・ロータリ変速を「中立」にします。



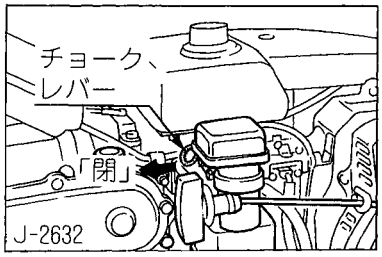
❸燃料コックを「開」にします。



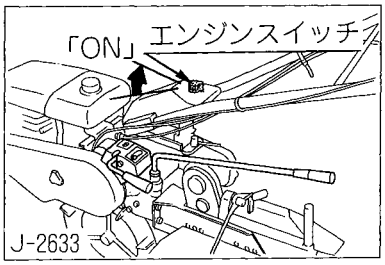
❹アクセルレバーを「高」にします。



❺チョークレバーを引き「閉」にします。



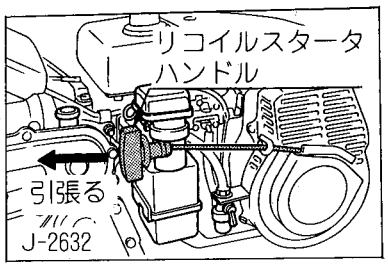
❻エンジンスイッチを「ON」にします。

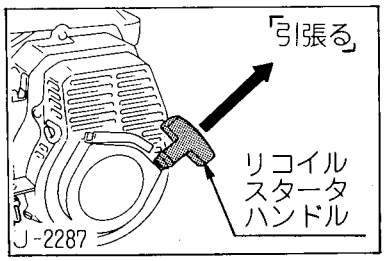


安全ポイント

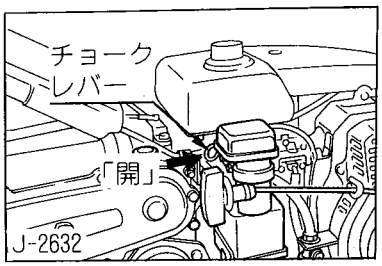
☆エンジンを始動するときは，主クラッチレバーを必ず「切」にしてください。
☆リコイルスタータの引張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。
☆エンジン始動時，機械が転倒しないよう注意してください。

❼リコイルスタータハンドルを握って，勢いよく引張ります。
エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。
（リコイルスタータハンドルは両引きになっていますので前，後どちらの方向にも使用できます。）





❽エンジンの運転調子を見ながら，チョークレバーを徐々に戻します。（開く）



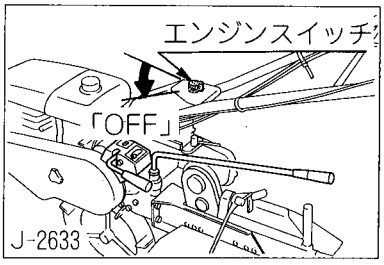
安全ポイント

☆マフラの排気方向に，燃えやすいものがないか確認してください。
☆エンジン運転中，マフラに手を触れないでください。

❾2～3分暖機運転を行なってから，作業を始めてください。

停止のしかた

❶主クラッチレバーを「切」にします。
❷アクセルレバーを「低」にします。
❸エンジンスイッチを「OFF」にすると，エンジンが停止します。
❹燃料コックを「閉」にします。



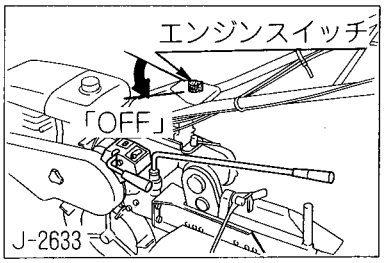
車両で運搬するときの注意

■燃料コックレバーを「閉」にする

燃料コックレバーを「閉」にしないで運搬したとき，次の現象が見られます。

- 機体の振動で気化器針弁の振れ
- エンジンクランクケース内への燃料の流入
- エアークリーナへの燃料の流入

などからエンジン始動が困難な場合がありますので，必ず「閉」にしてください。

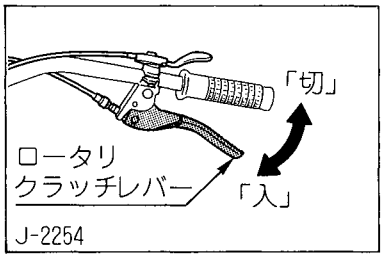


ならし運転（最初の10時間程度使用まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用は避け，無理をさせないようにしましょう。

ロータリクラッチの使い方

レバーを握ると爪回転が一時停止します。
レバーを放すと爪が回転します。
培土作業，土揚げ作業などの旋回時に効果があります。

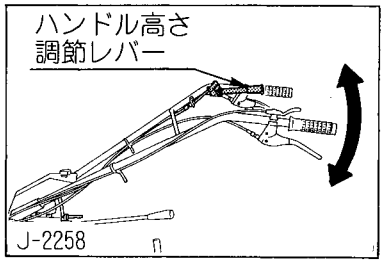


注意

- レバー操作により爪回転は一時的に停止するもので，手を放すと爪は回転しますので特に注意してください。

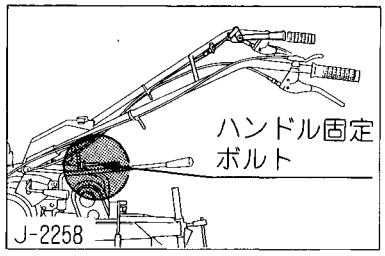
ハンドル高さの調節

ハンドル高さ調節レバーを下げると，ワンタッチでハンドルの高さが 4 段階に調節できます。
あぜぎわで旋回するときは，ハンドルをいっぱい下げてハンドルを持上げると楽に旋回できます。



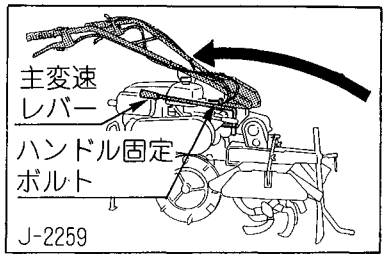
ハンドルの逆向き

❶前スタンドを立て，機体を安定させます。
❷ハンドル固定ボルトを外します。
❸ハンドルを逆向きに回動します。
❹ハンドルを固定ボルトで固定します。
❺主変速レバーの根元を持上げて，逆向きにします。



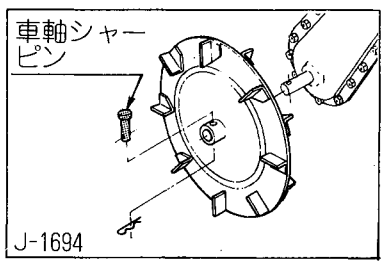
注意

- ハンドルを逆向きにしたときは，主クラッチワイヤを調節してください。



車輪の交換のしかた

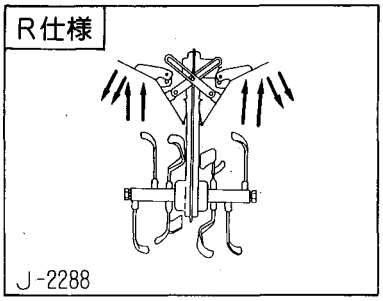
(1)車輪は，車軸シャーピンで着脱できます。
(2)車輪などはアタッチメント一覧表を参照して作業に合ったものを選定購入してください。
(3)車軸シャーピンは段付きピンを使用しています。高負荷，石のかみこみなどによる破損防止のために純正の車軸シャーピンを使用してください。



ロータリ各部の調節のしかた

■ロータリカバーの上下調節

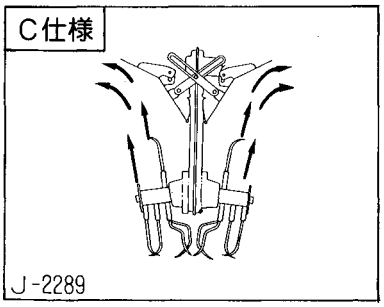
「中耕培土」「うね盛り」「土揚げ」作業などを行なう場合は，土の飛散を良くするため，左右ロータリカバーの角度を調節します。



◆中耕ロータリ（R仕様）

用途……一般畑地での中耕培土作業。

（土はいったんロータリカバーに当ってから横方向に飛ぶので，あまり遠くへは飛びません。）



◆クロスカットロータリ（C仕様）

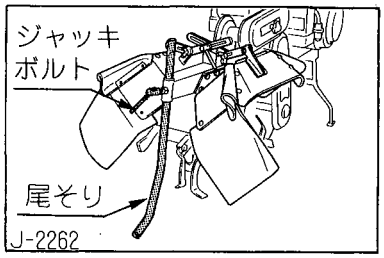
用途……畑・水田（転作）での中耕培土作業及び飛距離のある土入れ作業。

（土が斜め上にスムーズに飛びます。）

■尾そりの調節

❶尾そりはジャッキボルトをゆるめると上下に調節できます。

❷耕深を深くするときは尾そりを上げ，浅くするときは尾そりを下げてください。

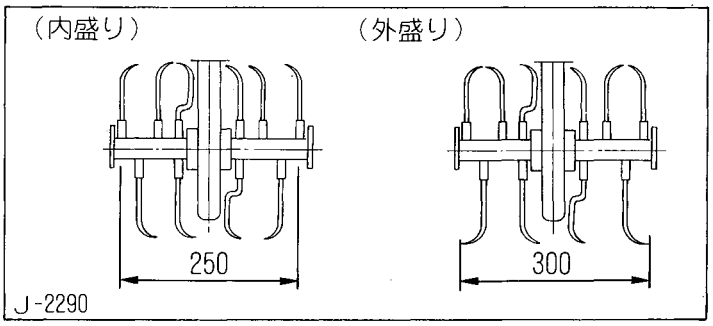


■耕うん爪の取付け

耕うん爪の選択と取付け方を誤りますと，チェーンケース下部に残耕ができたり，土塊にムラができるので下図のように耕うん爪を取付けてください。

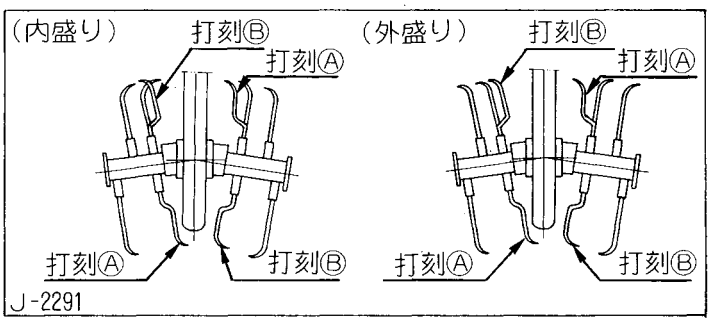
◆中耕ロータリ（R仕様）

同時打込みにする。



◆クロスカットロータリ（C仕様）

爪とブラケットのマークを合せ，同時打込みにする。

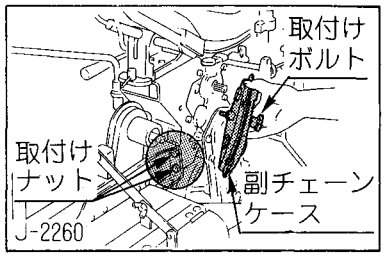


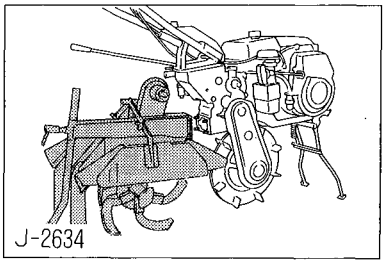
3

ロータリの着脱のしかた

■ロータリの外し方

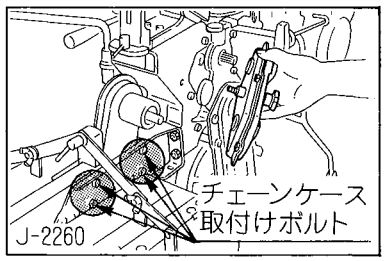
❶前スタンドを立て，機体を安定させます。
❷副チェーンケース取付けボルトを外し，副チェーンケースを外します。
❸ロータリ取付けナットを外し，ロータリを外します。





■ロータリの取付け方

❶前スタンドを立て，機体を安定させます。
❷本機にロータリを取付け，４個のナットで固定します。
❸副チェーンケースを，本機のＰＴＯ軸とロータリのＰＴＯ軸に，直角に押し当てるようにして，スプロケットのスプライン部に挿入します。入りにくい場合は，手でロータリの爪を回して合せてください。
尚，軸間が合わず副チェーンケースが入らない場合は，ロータリ側のチェーンケース取付けボルト（４本）をゆるめ，調節してください。



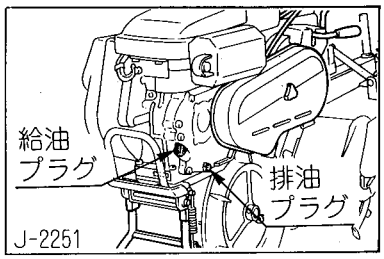
4. こんなときどうする？ ●管理機の簡単な手入れと処置

安全ポイント ☆給排油・点検・調節・清掃中はエンジンを停止して行なってください。
☆前スタンドを立て機械を安定させて行なってください。

エンジンオイルの交換

■排油のしかた
前スタンドを立てて，給油プラグを外し，そのあと排油プラグを取外し，排出してください。

■給油のしかた
前スタンドを立てて，スタンドの下に台をおき，エンジンを水平にして，給油口の口元まで入れてください。

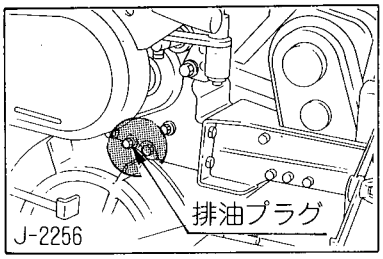


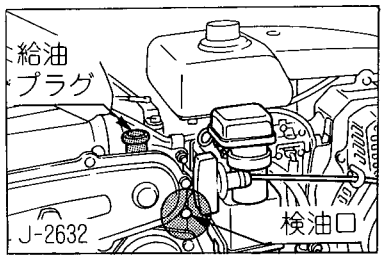
項目	交換 第1回目	交換 以後	オイルの種類
エンジンオイル	20時間使用後	50時間使用ごと	クボタ純オイル（ガソリンエンジン用）冬G20，夏G30

ミッションオイルの交換

■排油のしかた
排油プラグを取外し，排油してください。

■給油のしかた
前スタンドを立てた状態で給油プラグを外し，検油口から油があふれるまで給油してください。





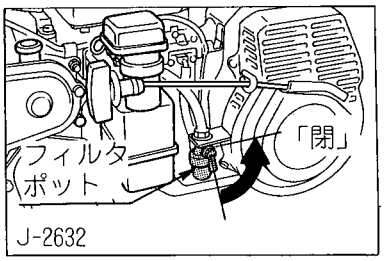
項目	交換 第1回目	交換 以後	オイルの種類
ミッションオイル	20時間使用後	年1回	クボタ純オイル M90又は，M80B（ミッション用）

燃料フィルタポットの清掃

フィルタ内に水やゴミがたまっているときは，燃料コックレバーを「閉」にし，フィルタポットを取外して，ガソリンできれいに洗浄してください。

注意

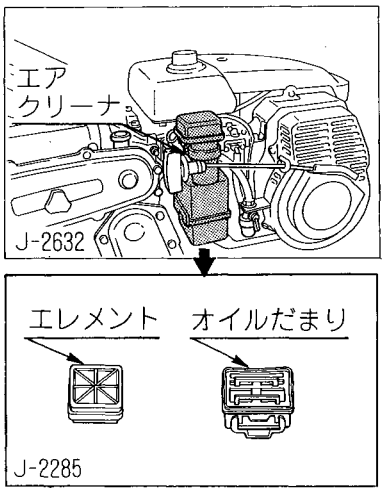
- 取付け時，燃料もれのないように確実に締付けてください。



4

エアークリーナ エレメントの清掃

エレメントを取外し，白灯油で洗い，エレメントの白灯油を振切って取付けてください。
オイルだまりはよく洗浄し，新しいオイルを規定量入れてください。
（エンジンオイルＳＣ級以上）

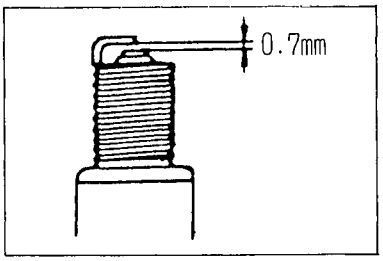


注意

- 汚れたまま使用しますと，エンジンの出力低下や故障の原因になります。
- 規定量…OIL LEVELと記載されているところ

点火プラグの調節・清掃

❶プラグ用ボックススパナでプラグを外して清掃します。プラグはフロントカバー締付けボルトを外し，カバーを外して取出します。
❷電極のすきまが0.7㎜になるように調節してください。
❸点検調節は６ヵ月に１回行なってください。

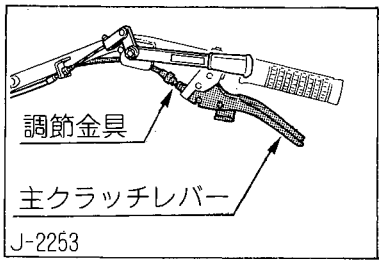


注意

(1) 締付け時は，ネジ山をつぶさないよう，はじめ手で締込んでから，ボックススパナで締付けてください。
(2) 点火プラグは必ずＮＧＫ製ＢＰ6ＨＳをご使用ください。

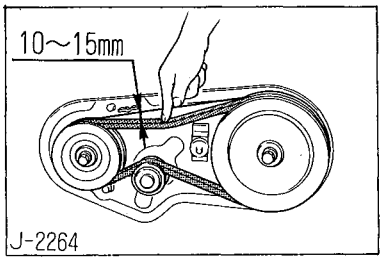
主クラッチワイヤの調節

主クラッチを握った状態でベルト中央部を指先で押えて10～15㎜たわむ程度にワイヤ調節金具でテンションプーリを調節してください。
なお，使用初期はベルトが伸びやすいため，10時間使用後ワイヤを再調節してください。
（このときハンドル位置は下から３段目にします。）



注意

- 主クラッチワイヤを調節した場合，エンジンを始動してクラッチの「入」「切」が確実に作動するか確認してください。

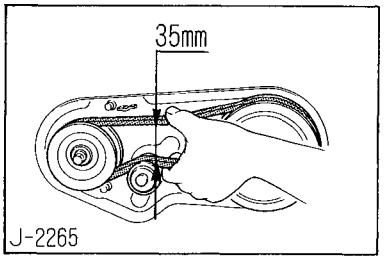


安全ポイント

☆ベルト調節を行なう場合は，必ずエンジンを停止して行なってください。
☆調整が終ったら必ずベルトカバーを取付けてください。

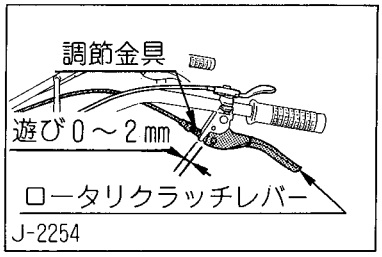
新しいベルトに交換する場合

新しいベルトに交換する場合は，ベルト中央部を指ではさんですき間を約35㎜ぐらいにして，エンジン固定ボルトを締付けてください。



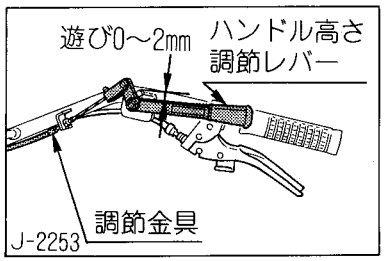
ロータリクラッチワイヤの調節

レバーの遊びが０～２㎜程度になるように，ワイヤ調節金具で調節してください。
調節後，ロックナットを確実に締付けてください。



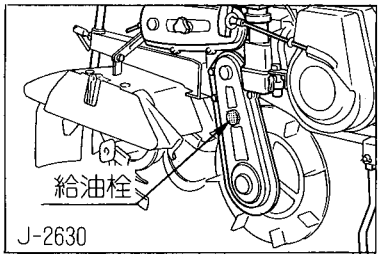
ハンドル高さ調節ワイヤの調節

ハンドル高さ調節レバーを離した状態で，レバーの遊びが０～２㎜程度になるように，ワイヤ調節金具で調節してください。
調節後，ロックナットを確実に締付けてください。



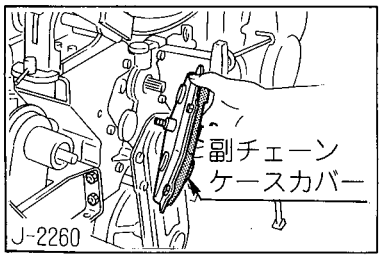
車軸ケースへのグリース

50時間使用ごとに，給油栓を外し，良質グリースを適量補充してください。



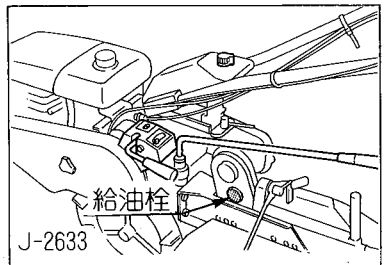
副チェーンケースへのグリース

50時間使用ごとに，副チェーンケースカバーを外し，良質グリースを適量補充してください。



ロータリケースへのグリース（R仕様）

50時間使用ごとに，給油栓を外し，良質グリースを適量補充してください。



ロータリケースオイルの交換（C仕様）

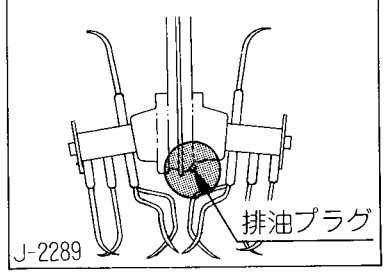
■排油のしかた

排油プラグを外し，排油してください。

■給油のしかた

給油栓を外し，規定量給油してください。

項　目	交　換	オイルの種類	容量
ロータリケースオイル	年１回	クボタ純オイル M90又は，M80B	0.2ℓ



4

5. 長い間使わないときは？ ●長期格納時の手入れ

使用後の手入れ

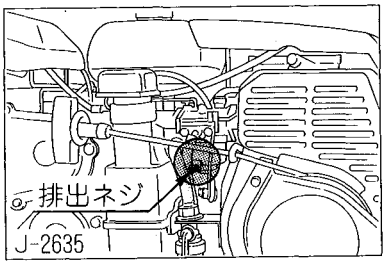
(1)使用後は，必ずその日のうちに清掃を行ない，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部はさびないよう油を塗布してください。
(2)特にファンカバー内にゴミが詰まりますと，エンジンの焼付きなどの原因になりますので，よく点検・清掃を行なってください。

長期格納時の注意

使用後の清掃と同じく，
❶各部に付着している泥やゴミを水で洗い落とし，
❷各部の水分を乾いた布などで十分にぬぐい取り，
❸摩擦しゅう動部，及び塗料のはがれたところなどには，さびないように油脂を塗布してください。
(1)主クラッチレバーは「切」の位置にして，保管します。
(2)燃料は全部抜取っておきます。
(3)エンジンオイルを交換します。
(4)エアクリーナエレメントは，きれいに清掃しておきます。ゴミがこびりついて次回使用の際，清掃が困難になります。
(5)エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するため，リコイルスタータハンドルを引張って，圧縮位置で止めておきます。
(6)カバーをかけ，湿気やホコリのない場所に置いてください。
カバーはエンジンが冷えてからかけてください。

燃料の抜取り

燃料をそのままにしておくと，燃料タンクや気化器内のガソリンが気化して，次の始動が困難になることがあります。
燃料タンク内はポンプなどを使用して抜取り，気化器内は排出ネジをゆるめて全部抜取ってください。



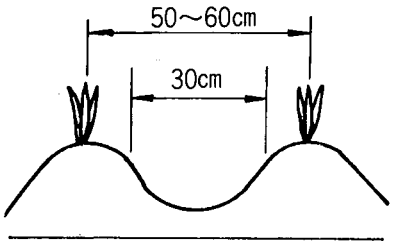
安全ポイント
☆燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。

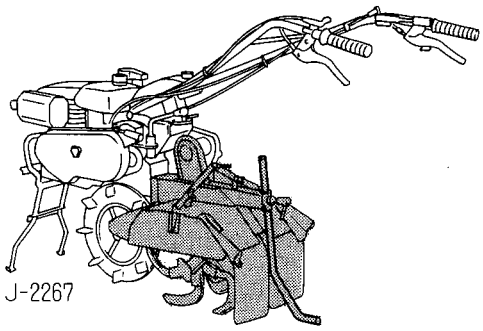
5

6. このような作業ができます ●アタッチメント

中耕・除草

広い畝の中耕・除草作業

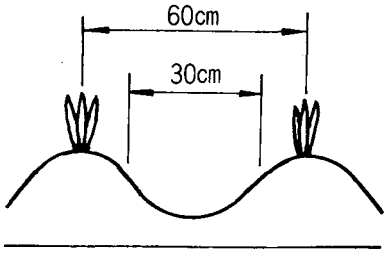


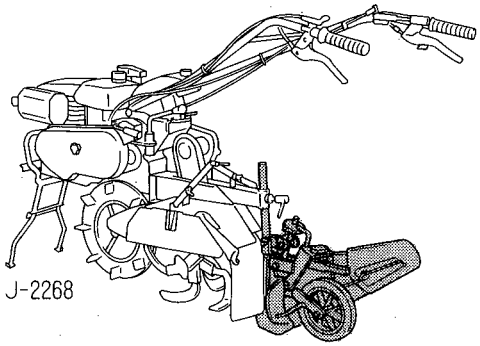


●作物
一般野菜

培土・畝立て

広い畝の培土作業

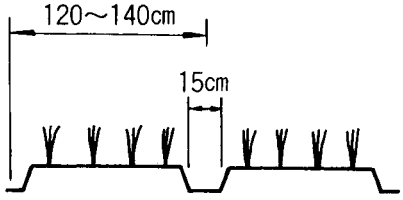


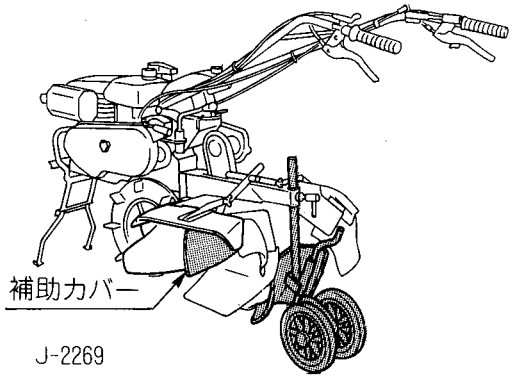


●作物　一般野菜
●使用アタッチメント
TSロータリ培土2号(尾輪付)
イエロ培土機
M形ホワイト培土機

土入れ・土揚げ

ロータリ逆転による
土入れ作業





●作物
ニンニク・人参・麦・玉ねぎ

注意 作業に合せてアタッチメント一覧表より選んでください。

■アタッチメント一覧表

分類	品番	品名	仕様	用途	適応ロータリ	
					R仕様	C仕様
車輪関係	91034-12100	ディスク車輪330	外径33cm,幅 8 cm	中耕・培土用	○	○
	91033-31600	フォーク車輪340	外径34cm,幅 8 cm	傾斜地などでの中耕･培土用	○	○
	91034-11100	広幅ディスク車輪	外径30cm,幅 8 cm	軟らかい所での中耕･培土用	○	○
	91034-11200	リング付ディスク車輪	外径30cm,幅 8 cm	軟らかい所での中耕･培土用	○	○
	91054-53100	鉄車輪340	外径34cm,幅 9 cm	硬い所での中耕･培土用	○	○
	91013-30280	3.50-7タイヤアッシ	外径35cm,幅10cm	路上走行，軟土質での中耕・培土用	○	○
	91033-52210	スリップ車輪	外径32cm,幅 9 cm	——	○	○
	91033-32100	M形スパイク車輪330	外径33cm,幅 9 cm	硬い所での中耕･培土用	○	○
	91054-52100	パワー車輪	外径36cm,幅 8 cm	畑地･水田などの中耕･培土用	○	○
	91054-52200	M形鉄車輪	外径33cm,幅 9 cm	硬い所での中耕･培土用	○	○
培土関係	91223-33510	TSロータリ培土１号	羽根尻幅34～37cm 刃先幅 10cm	狭いうね間の中耕･培土用	○	—
	91223-33610	TSロータリ培土２号	羽根尻幅42～50cm 刃先幅 11cm	中耕・培土用	○	—
	91223-33700	TSロータリ培土尾輪付	羽根尻幅42～50cm 刃先幅 11cm	中耕・培土用	○	—
	91223-35100	M形ホワイト培土機	羽根尻幅25～65cm 刃先幅 11cm	中耕・培土用	○	○
	91223-35200	イエロー培土機	羽根尻幅30～60cm 刃先幅 13cm	中耕・培土用	○	○
	91223-53100	溝浚機	羽根尻幅50～60cm 刃先幅 10cm	台形のうね作り用	○	○
	98612-15230	イエロー培土Ｒ２形	——	中耕・培土用	○	—
爪軸関係	91201-26010	土入れ爪軸Rセット150～200	外径32cm,耕幅15～20cm	土入れ,ベッド作り用	○	—
	91201-26020	土入れ爪軸Rセット200～250	外径32cm,耕幅20～25cm	土入れ,ベッド作り用	○	—
	91201-26030	土入れ爪軸Cセット150～200	外径32cm,耕幅15～20cm	土入れ,ベッド作り用	—	○
	91201-26040	土入れ爪軸Cセット200～250	外径32cm,耕幅20～25cm	土入れ,ベッド作り用	—	○
	91201-26500	片排土Rセット150～200	外径32cm,耕幅15～20cm	ハウス支柱際，畑周囲の土揚げ用	○	—
	91201-26600	片排土Rセット200～250	外径32cm,耕幅20～25cm	ハウス支柱際，畑周囲の土揚げ用	○	—
	91191-15100	羽根ロータアッシ200	外径32cm,耕幅20cm	土入れ,ベッド作り用	○	○
	91191-15200	羽根ロータアッシ250	外径32cm,耕幅25cm	土入れ,ベッド作り用	○	○
	91191-15300	羽根ロータアッシ300	外径32cm,耕幅30cm	土入れ,ベッド作り用	○	○
	91191-15500	片揚げ羽根ロータ200	外径32cm,耕幅20cm	土揚げ用	○	—
	91191-15600	片揚げ羽根ロータ250	外径32cm,耕幅25cm	土揚げ用	○	—
	91191-15700	片揚げ羽根ロータ300	外径32cm,耕幅30cm	土揚げ用	○	—
	91201-67010	延長爪軸Rセット400	耕幅36cm，42cm	——	○	—
	91201-67020	延長爪軸Cセット400	耕幅36cm	——	—	○
	91201-67030	中耕爪軸Rセット	外径33cm,耕幅26cm	——	○	—
	91201-67040	中耕爪軸Cセット	外径33cm,耕幅25cm	——	—	○
	91201-67050	中耕爪軸(２段式)	——	——	○	—
その他	91201-26900	双尾輪排土板付	底幅15～25cm	——	○	○

7

7. 付記 ●主要諸元・標準付属品・主な消耗部品一覧表

■主要諸元

形式			TS140		TS150	
呼称			TS140-R	TS140-C	TS150-R	TS150-C
機体寸法	全長(mm)		1450			
	全幅(mm)		620			
	全高(mm)		880			
重量(kg)			64		66	
エンジン	名称		クボタGH120		クボタGH170	
	形式		空冷4サイクルガソリンエンジン(OHV)			
	総排気量(cc)		121		169	
	出力/回転速度(PS/rpm)		2.8/1800(最大4.2)		4.0/1600(最大5.5)	
	使用燃料		自動車用無鉛ガソリン			
	燃料タンク容量(ℓ)		1.5			
	点火方式		無接点式トランジスタマグネット点火			
	始動方式		リコイル式			
伝動方式	エンジン～第1軸		ベルトSB33インチ		ベルトSB34インチ	
	第1軸～車軸		ギヤー，チェーン			
	第1軸～PTO軸		ギヤー			
	第1軸～駆動作業機		ギヤー，チェーン			
車輪			ディスク車輪(D仕様)，移動車輪(E仕様)，ゴムタイヤ3.50-7(T仕様)			
主クラッチ方式			ベルトテンション			
変速段数	主変速	前進	2段			
		後進	1段			
走行部	車軸形状(径mm)		丸(φ20)			
	走行速度	前進	1速(1.43km/h)，2速(2.79km/h)			
		後進	1速(1.43km/h)			
ロータリ	駆動方式		センタドライブ			
	耕うん幅(mm)		300	280	300	280
	ロータリ径(mm)		φ330			
	爪軸形状(径mm)		丸(φ29)			
	爪軸装着方法(径mm)		ピン式(φ10)			
	変速段数		2段(副チェーンケース前後入換えを含む)			
	爪軸回転数(rpm)(標準12×15スプロケット CH仕様11×16スプロケット)	正転	低…254，高…397(CH仕様 低…220，高…460)			
		逆転	低…254，高…397(CH仕様 低…220，高…460)			

■標準付属品

品　　名	数　　量
10－12　ス　パ　ナ	1
ドライバ(＋，－差換え式)	1
プ ラ グ ボ ッ ク ス	1
Ｐ Ｔ Ｏ 軸 カ バ ー	1
ボ　　ル　　ト	2
車 軸 シ ャ ー ピ ン	2
取　扱　説　明　書	1
納 入 品 安 全 説 明 書	1
保　　証　　書	1

■主な消耗部品一覧表

品　　名	品　　番	適応形式	
		TS140	TS150
ベ　ル　ト　Ｂ　３　３	61711-62210	○	－
ベ　ル　ト　Ｂ　３　４	61731-62210	－	○
車 軸 シ ャ ー ピ ン	61711-17320	○	○
ス ロ ッ ト ル ワ イ ヤ	61711-43220	○	○
主 ク ラ ッ チ ワ イ ヤ	61711-42120	○	○
耕うんクラッチワイヤ	61711-42610	○	○
点火プラグ（ＢＰ６ＨＳ）	13901-67712	○	○
ガ ス ケ ッ ト ヘ ッ ド	12643-03312	○	－
ガ ス ケ ッ ト ヘ ッ ド	12653-03312	－	○
ガスケットヘッドカバー	12643-14520	○	○
エアークリーナパッキン	13901-11510	○	○
エアークリーナエレメントアッシ	12643-11080	○	○
フ ィ ル タ エ レ メ ン ト	12454-43160	○	○
ロ　ー　プ　ア　ッ　シ	12191-61090	○	○

7

TS140·TS150
Z. ●. 9－17. 10. K

株式会社クボタ

本社	大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号	〒556	電(06)	648-2111
東京本社	東京都中央区日本橋室町３丁目１番３号	〒103	電(03)	3245-3111
北海道支社	札幌市中央区北３条西３丁目１番地44(札幌富士ビル)	〒060	電(011)	214-3111
東北支社	仙台市青葉区本町２丁目15番11号	〒980	電(022)	267-9000
中部支社	名古屋市中村区名駅３丁目22番８号(大東海ビル)	〒450	電(052)	564-5111
九州支社	福岡市博多区博多駅前３丁目２番８号(住友生命博多ビル)	〒812	電(092)	473-2401
札幌支店	札幌市西区西町北16丁目１番１号	〒063	電(011)	662-2121
仙台支店	名取市田高字原182番地の１	〒981-12	電(022)	384-5151
東京支店	浦和市西堀５丁目２番36号	〒338	電(048)	862-1121
大阪支店	大阪府堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号	〒590	電(0722)	41-8506
岡山支店	岡山市宍甘275番地	〒703	電(0862)	79-4511
福岡支店	福岡市東区和白丘２丁目２番76号	〒811-02	電(092)	606-3161
堺製造所	堺市石津北町64番地	〒590	電(0722)	41-1121
宇都宮工場	宇都宮市平出工業団地22番地２	〒321	電(0286)	61-1111
筑波工場	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(029752)	5112
枚方製造所	枚方市中宮大池１丁目１番１号	〒573	電(0720)	40-1121
堺部品センター	堺市築港新町３丁８番	〒592	電(0722)	45-8601
宇都宮部品センター	宇都宮市平出工業団地38-16	〒321	電(0286)	63-6336
筑波部品センター	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(029752)	2293
枚方部品センター	枚方市中宮大池１丁目１番１号	〒573	電(0720)	40-1797
北海道部品センター	北海道札幌郡広島町大曲工業団地３丁目１番地	〒061-12	電(011)	376-2335

株式会社クボタアグリ東北

秋田事業所	秋田市寺内字大小路207-54	〒011	電(0188)	45-1601
仙台事業所	宮城県名取市田高字原182-１	〒981-12	電(022)	384-5151

株式会社クボタアグリ東京

東京事業所	浦和市西堀５-２-36	〒338	電(048)	862-1121
新潟事業所	新潟市上所上１-14-15	〒950	電(025)	285-1261

株式会社クボタアグリ大阪

金沢事業所	石川県松任市下柏野町956-１	〒924	電(0762)	75-1121
名古屋事業所	愛知県一宮市観音町１-１	〒491	電(0586)	24-5111
大阪事業所	大阪府堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号	〒590	電(0722)	41-8550

株式会社クボタアグリ中四国

米子事業所	米子市米原７丁目１番１号	〒683	電(0859)	33-5011
岡山事業所	岡山市宍甘275	〒703	電(0862)	79-4511
高松事業所	香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-３	〒769-01	電(0878)	74-5091

株式会社クボタアグリ九州

福岡事業所	福岡市東区和白丘２-２-76	〒811-02	電(092)	606-3161
熊本事業所	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１	〒861-41	電(096)	357-6181

品番　61711—6521—4